

ごあいさつ

皆さまには、平素より高知県信用農業協同組合連合会（JA バンク高知信連）をご利用いただき誠にありがとうございます。

当会は、昭和 23 年の設立以来 76 年にわたり、高知県の農業や地域社会の発展を金融面より支援する地域金融機関として歩んでまいりました。これもひとえに皆さまの温かいご理解とご支援の賜と、深く感謝申し上げます。

本年も当会の事業や経営内容について皆さまにご紹介いたしたく、小誌を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、日本経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化、歴史的水準まで進んだ円安や価格転嫁の進展による好調な企業の業績から日経平均株価はバブル期につけた史上最高値を更新するなど、回復基調となりました。一方で、実体経済に目を転じれば、消費者物価は高止まりし、実質賃金の前年比伸び率がマイナス状態で継続しています。先行きについては、好調な企業業績を受けた賃金上昇、政府の経済対策の効果にも支えられ、国内景気の緩やかな回復傾向が期待されるものの、これまでの金融引き締め効果を受けた欧米経済の減速など、世界経済の減速基調が重しとなり、景気は足踏み状態となることも想定されます。

農業情勢は、人口減少および高齢化、後継者不足等による農家戸数や耕地面積が減少傾向となっており、農業生産基盤の脆弱化が進行しています。また、飼料、肥料、燃油等生産資材の価格が高止まりし、農業経営に大きな影響を及ぼしており、農産物の生産コストを反映した適正な価格形成に向けた仕組みの法制化が急がれます。

こうした情勢下、当会は、令和 3 年 12 月に開催された第 35 回高知県 JA 大会決議を母体とした『中期経営計画（令和 4 年度～令和 6 年度）』の最終年度として、JA バンク高知としての一体性強化、農業所得向上に向けた総合事業を活かした金融仲介機能の発揮と財務の健全性確保に向けて、会員や利用者の皆さまの負託に応えるため、「JA バンク基本方針」に基づき、これまで以上に信頼性の維持・向上に向けた事業運営を徹底してまいります。

今後とも、県内 JA と一体となった信用事業運営に対しまして、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 7 月

高知県信用農業協同組合連合会
 経営管理委員会会長 久岡 隆
 代表理事理事長 東山 英仁